



2025年7月14日

各 位

会 社 名 三 和 油 化 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 柳 均
(コード番号：4125 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 熊 崎 聡
(TEL 0566-35-3021)

子会社等の異動を伴う株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、エー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社（大阪府大阪市西淀川区西島1丁目2番152号 代表取締役 武田正治 以下「A&H社」という。）の全株式を取得し、子会社化するための株式譲渡契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、「環境ニーズを創造する」をテーマに事業展開しており、廃棄物からの資源有効利用と環境にやさしい製品づくりを目指し事業活動を行っております。

国内製造業においては、半導体・蓄電池・電子部品等の分野に成長の期待が寄せられており、これら製造業において利用される希少金属は、今後さらに需要が増してくるものと考えられております。貴金属・レアメタル等は産出国が偏在することをはじめ、為替・地政学等の要因により調達リスクが懸念されており、貴金属・レアメタル等の国内循環利用ニーズは今後ますます高まっていくものと考えております。

そのような環境下、収集・製造・販売に強みをもつ当社グループと貴金属・レアメタルのリサイクル実績が豊富であり、研究開発力を強みとするA&H社が融合することにより、多くのシナジー効果を生み出し、サーキュラービジネスをさらに加速させ、リサイクルメーカーとしての企業価値向上を図ることといたしました。

なお、当社グループとA&H社によるシナジー効果についての資料を添付しておりますのでご参照ください。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	エー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社																				
(2) 所 在 地	大阪府大阪市西淀川区西島1丁目2番152号																				
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 武田 正治																				
(4) 事 業 内 容	貴金属・レアメタルの分離・回収精製 貴金属・レアメタルの販売、各種化成品販売 貴金属回収装置の企画・製造																				
(5) 資 本 金	49 百万円																				
(6) 設 立 年 月 日	2003 年 2 月 5 日																				
(7) 大株主及び持株比率	<table border="0"> <tr> <td>高木 理</td> <td>32.3%</td> </tr> <tr> <td>武田 正治</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>森田 啓子</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>菊池 吉泰</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>稗田 俊彦</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>宮本 有庸</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>高木 理恵</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>高木 啓</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>自己株式</td> <td>50.0%</td> </tr> </table>			高木 理	32.3%	武田 正治	4.7%	森田 啓子	4.5%	菊池 吉泰	3.2%	稗田 俊彦	2.2%	宮本 有庸	2.2%	高木 理恵	0.4%	高木 啓	0.4%	自己株式	50.0%
高木 理	32.3%																				
武田 正治	4.7%																				
森田 啓子	4.5%																				
菊池 吉泰	3.2%																				
稗田 俊彦	2.2%																				
宮本 有庸	2.2%																				
高木 理恵	0.4%																				
高木 啓	0.4%																				
自己株式	50.0%																				
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません																			
	人的関係	該当事項はありません																			
	取引関係	該当事項はありません																			
(9) 当該会社の最近3年間の財政状態及び経営成績																					
決算期	2022年9月30日	2023年9月30日	2024年9月30日																		
純 資 産	151 百万円	161 百万円	258 百万円																		
総 資 産	1,267 百万円	1,542 百万円	1,815 百万円																		
1株当たり純資産	309,115 円	330,504 円	528,235 円																		
売 上 高	2,858 百万円	3,222 百万円	3,970 百万円																		
営 業 利 益	87 百万円	93 百万円	199 百万円																		
経 常 利 益	75 百万円	83 百万円	180 百万円																		
当 期 純 利 益	34 百万円	14 百万円	101 百万円																		
1株当たり当期純利益	69,774 円	30,138 円	206,481 円																		
1株当たり配当金	8,750 円	8,750 円	8,750 円																		

注. 会計処理は税込経理方式にて行われております。

3. 取得する株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	490 株 (議決権の数：490 個)
(3) 取得価額	7 億円 (普通株式 1 株につき 1,428,571 円)
(4) 異動後の所有株式数	490 株 (議決権の数：490 個) (議決権所有割合：100%)

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	高木 理	
(2) 住所	兵庫県神戸市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	武田 正治	
(2) 住所	大阪府大阪市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	森田 啓子	
(2) 住所	兵庫県神戸市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	菊池 吉泰	
(2) 住所	兵庫県芦屋市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	宮本 有庸	
(2) 住所	兵庫県宝塚市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	稗田 俊彦	
(2) 住所	兵庫県西宮市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	高木 理恵	
(2) 住所	兵庫県神戸市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

(1) 氏名	高木 啓	
(2) 住所	兵庫県神戸市	
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

5. 取得の日程

(1) 取締役会議	2025年7月14日(月)
(2) 契約締結日	2025年7月14日(月)
(3) 株式譲渡実行日	2025年10月1日(水) 予定

6. 業績等に与える影響について

本件が2026年3月期連結業績に与える影響につきまして、現在精査を行っており、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上



三和油化工業株式会社

東証スタンダード市場／名証メイン市場
証券コード：4125



補足説明資料

2025年7月14日

企業結合前の状況

- ・三和油化グループでは、有機溶剤等のマテリアルリサイクルには優位性があるものの、金属リサイクルの実績は低水準
- ・A&H社では、技術力を活かして事業拡大を目論むも、リソース不足により課題感あり

 三和油化工業株式会社

- ・半導体・電池・電子部品業界への豊富なマテリアルリサイクル実績
- ・サステナブル意識の高い大手メーカーと直需取引が多い

A&H Japan

- ・研究開発力に優れ、貴金属・レアメタルのリサイクル実績が豊富
- ・GHG排出量の少ない湿式回収がメイン

事業機会

- ・半導体・電池・電子部品業界では、成長に伴い希少金属の利用量増加が見込まれる
- ・為替や地政学等の要因により安定的に希少金属を調達できないリスクが顕在化

大手メーカーのニーズに応え、輸入依存度の高い希少金属を国内で資源循環

期待されるシナジー効果

●三和油化グループの事業基盤とA&H社の金属マテリアルリサイクルが融合



2025年10月1日 企業結合（予定）

三和油化グループ

設備投資資金・リサイクル用地の提供
廃棄物収集、再資源化、再生品販売、廃酸処理
大手メーカーとの取引実績

A&H社

金属リサイクルに豊富な実績
技術力の提供、新規開発、共同開発



リユース事業の拡大

リユース事業売上構成比

	溶剤リサイクル	リン酸リサイクル	金属リサイクル
結合前	約60%	約30%	約10%
結合後	30~40%	15~20%	40~50%

※ 結合後の構成比は予想値となります。
業績等に与える影響については、現在精査を行っており、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

- ・当社グループのリユース事業に、貴金属・レアメタルという新たな柱を追加し、事業拡大を図る
- ・既存顧客への水平展開、プラント解体での金属回収、効率化による原価低減など多くの効果を見込む
- ・ランドビジョン2030（売上高350億円、営業利益42億円）の達成にむけ加速

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://www.sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。